

2022年11月8日
上場取引所 東 名

上場会社名 清水建設株式会社

コード番号 1803 URL https://www.shimz.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井上 和幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 山口 充穂

TEL 03-3561-1111

四半期報告書提出予定日 2022年11月9日

配当支払開始予定日 2022年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	825,921	27.9	11,244	7.4	14,264	11.4	11,281	5.9
2022年3月期第2四半期	645,601	△5.5	10,473	△77.2	12,807	△73.9	10,651	△72.2

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 12,304百万円（△9.2%） 2022年3月期第2四半期 13,548百万円（△64.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	15.26	—
2022年3月期第2四半期	14.19	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,218,020	882,361	37.4
2022年3月期	2,128,356	875,172	38.7

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 829,444百万円 2022年3月期 824,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
2023年3月期	—	10.50	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	10.50	21.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注）2022年3月期の中間配当金及び期末配当金には、それぞれ特別配当1円50銭が含まれております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,960,000	32.2	71,500	58.4	70,000	38.8	51,500	7.8	69.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 3 社（社名）SCB Boylston PO, LLC、SCB Boylston Holding, LLC、SC Boylston Investment, LLC
除外 1 社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	788,514,613株	2022年3月期	788,514,613株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	47,610,197株	2022年3月期	50,309,352株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	739,104,744株	2022年3月期2Q	750,906,575株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料 2 ページに記載の「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」及び本日（2022年11月8日）公表の「決算説明資料」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	5
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の流行が拡大と収束を繰り返す中、各種制限の段階的な緩和により社会経済活動は正常化に向けた動きが見られましたが、ウクライナ危機の長期化や急速な円安の進行、それらに伴うエネルギー資源、食料の世界的な供給制約と価格上昇が企業活動と国民生活に広く影響を及ぼしました。

建設業界においては、民間設備投資に持ち直しの動きが見られ、業界全体の受注高は前年同期を上回る水準で推移しましたが、建設資材の価格高騰などの影響があり、厳しい経営環境が続きしました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、完成工事高及び開発事業等売上高の増加により、前年同期に比べ27.9%増加し8,259億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益が増加したことなどから、営業利益は前年同期に比べ7.4%増加し112億円、経常利益は11.4%増加し142億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は5.9%増加し112億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、現金同等物（現金預金及び有価証券に含まれる譲渡性預金）や受取手形・完成工事未収入金等の増加などにより、前期末に比べ896億円増加し2兆2,180億円となりました。

負債の部は、連結有利子負債や未成工事受入金の増加などにより、前期末に比べ824億円増加し1兆3,356億円となりました。

なお、連結有利子負債の残高は5,510億円となり、前期末に比べ558億円の増加となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ71億円増加し8,823億円となりました。また、自己資本比率は前期末に比べ1.3ポイント低下し37.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想については、当社グループを取り巻く景況感は概ね想定の範囲内であることから、現時点では2022年7月29日に公表しました業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	250,134	200,763
受取手形・完成工事未収入金等	684,217	724,255
有価証券	37,000	98,000
販売用不動産	7,097	16,817
未成工事支出金	30,742	36,319
開発事業支出金	14,419	20,030
その他の棚卸資産	2,909	2,920
その他	124,711	135,278
貸倒引当金	△1,147	△1,166
流動資産合計	1,150,085	1,233,219
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	226,287	235,236
土地	298,667	295,185
その他(純額)	89,670	96,659
有形固定資産合計	614,625	627,081
無形固定資産	21,069	21,252
投資その他の資産		
投資有価証券	326,835	320,337
その他	17,671	18,058
貸倒引当金	△1,930	△1,929
投資その他の資産合計	342,576	336,466
固定資産合計	978,271	984,800
資産合計	2,128,356	2,218,020
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	325,953	332,246
短期借入金	130,609	210,941
1年内返済予定のノンリコース借入金	8,758	8,812
コマーシャル・ペーパー	50,000	—
1年内償還予定のノンリコース社債	13,761	8,640
未成工事受入金	107,630	124,872
完成工事補償引当金	3,353	3,646
工事損失引当金	54,117	49,105
その他	154,009	164,851
流動負債合計	848,195	903,117
固定負債		
社債	110,000	110,000
ノンリコース社債	8,208	—
長期借入金	99,945	130,338
ノンリコース借入金	73,857	82,284
退職給付に係る負債	55,899	56,889
その他	57,078	53,028
固定負債合計	404,988	432,541
負債合計	1,253,184	1,335,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	74,365	74,365
資本剰余金	43,678	43,692
利益剰余金	592,199	595,327
自己株式	△43,282	△41,299
株主資本合計	666,959	672,086
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,308	126,964
繰延ヘッジ損益	214	△5
土地再評価差額金	25,831	25,495
為替換算調整勘定	△898	4,404
退職給付に係る調整累計額	80	499
その他の包括利益累計額合計	157,536	157,358
非支配株主持分	50,675	52,916
純資産合計	875,172	882,361
負債純資産合計	2,128,356	2,218,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高		
完成工事高	588,514	737,409
開発事業等売上高	57,087	88,511
売上高合計	645,601	825,921
売上原価		
完成工事原価	545,352	688,415
開発事業等売上原価	45,892	77,124
売上原価合計	591,245	765,540
売上総利益		
完成工事総利益	43,161	48,993
開発事業等総利益	11,194	11,386
売上総利益合計	54,356	60,380
販売費及び一般管理費	43,883	49,136
営業利益	10,473	11,244
営業外収益		
受取利息	354	382
受取配当金	3,280	2,830
為替差益	—	1,850
その他	983	972
営業外収益合計	4,619	6,035
営業外費用		
支払利息	1,314	1,780
その他	970	1,235
営業外費用合計	2,285	3,015
経常利益	12,807	14,264
特別利益		
固定資産売却益	6,456	5,336
特別利益合計	6,456	5,336
特別損失		
固定資産売却損	20	111
投資有価証券評価損	18	142
特別損失合計	39	254
税金等調整前四半期純利益	19,224	19,346
法人税等	8,729	7,556
四半期純利益	10,495	11,790
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△156	508
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,651	11,281

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	10,495	11,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,779	△5,363
繰延ヘッジ損益	5	△220
為替換算調整勘定	1,683	5,628
退職給付に係る調整額	△422	423
持分法適用会社に対する持分相当額	7	45
その他の包括利益合計	3,053	514
四半期包括利益	13,548	12,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,705	11,439
非支配株主に係る四半期包括利益	△156	865

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,224	19,346
減価償却費	9,601	12,398
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△43	12
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	1,711	△5,043
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,818	1,527
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△186
投資有価証券評価損益 (△は益)	18	142
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,433	△5,038
受取利息及び受取配当金	△3,635	△3,212
支払利息	1,314	1,780
売上債権の増減額 (△は増加)	23,182	△38,723
販売用不動産の増減額 (△は増加)	1,376	7,115
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△5,475	△5,542
開発事業支出金の増減額 (△は増加)	△986	△5,611
その他の棚卸資産の増減額 (△は増加)	511	△7
仕入債務の増減額 (△は減少)	△42,522	5,480
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	9,620	16,371
その他	407	4,114
小計	9,687	4,924
利息及び配当金の受取額	4,269	3,302
利息の支払額	△1,403	△1,708
法人税等の支払額	△10,462	△12,059
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,091	△5,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,132	△37,323
有形固定資産の売却による収入	80	698
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△132	△1,666
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	8,816	6,542
その他	△202	△1,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,570	△33,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△34,079	77,849
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	30,000	△50,000
長期借入れによる収入	—	41,811
長期借入金の返済による支出	△9,178	△10,985
ノンリコース借入れによる収入	15,819	11,068
ノンリコース借入金の返済による支出	△4,151	△4,391
ノンリコース社債の償還による支出	△632	△13,329
子会社の所有する親会社株式の売却による収入	—	4,004
配当金の支払額	△13,755	△8,458
その他	△20,229	△783
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,206	46,785
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,168	3,794
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△64,516	11,629
現金及び現金同等物の期首残高	276,321	287,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	211,804	298,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

原則として、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	527,309	13,510	104,781	645,601	—	645,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,706	120	55,592	62,419	△62,419	—
計	534,015	13,631	160,374	708,020	△62,419	645,601
セグメント利益(注1)	17,872	4,956	5,784	28,612	△18,139	10,473

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでおりません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業及び子会社が営んでいる各種事業を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額△18,139百万円は、セグメント間取引消去等であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	当社建設	当社投資開発	その他 (注2)	合計	調整額 (注3)	四半期連結損益 計算書計上額
売上高						
外部顧客への売上高	619,527	17,037	189,356	825,921	—	825,921
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,971	126	57,361	59,459	△59,459	—
計	621,498	17,164	246,717	885,380	△59,459	825,921
セグメント利益(注1)	9,983	5,370	5,177	20,531	△9,286	11,244

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。なお、報告セグメントの利益には、引当金の繰入額及び取崩額を含んでおりません。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社が営んでいるエンジニアリング事業、LCV事業及び子会社が営んでいる各種事業を含んでおります。

3 セグメント利益の調整額△9,286百万円は、セグメント間取引消去等であります。

以 上